


TSR情報

TSR 株式会社 東京商工リサーチ 

〒100-6809 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 (JAビル)
TEL 代表 03(6910)3155 FAX 03(5221)0718
ホームページアドレス <http://www.tsr-net.co.jp>

昭和37年7月18日 第三種郵便物認可
日刊(土・日・祝日休刊)
購読料 年間 70,000円 (消費税別)

2012.3.14 (水) No.13230

TSR



経済を読む

公開会社法の悩ましい問題

金融ジャーナリスト 森岡 英樹

Weekly Topics

AIJ 投資顧問 (前編)

業界 Watch

主要上場建設会社 第3四半期決算状況 (受注編)

債権者情報

ハヤシプレジジョン(株) (東京) 自動車部品・機械部品製造
ユーコービジネスマシン(株) (神奈川) パソコン・複写機・OA機器等販売

信用情報

(株)C & I Holdings (東京) ビジネスマッチング事業
土屋工業(株) (東京) 金属プレス板金加工
ユニコン・エンジニアリング(株) (東京) 土木建築・設計管理業
(有)仲和建設 (東京) 解体・とび工事
(株)住宅情報センター (東京) 不動産仲介ほか
(株)辻商 (神奈川) オフィス家具等販売
(有)東日本農産物加工 (北海道) 山菜加工業
(株)アイアーク (北海道) 包装資材容器卸
(株)ゲットプロ (兵庫) バイオディーゼルの燃料製造装置製造
フーズサポート(株) (富山) 食品用包装資材卸
(株)アートセンター (岐阜) 包装パッケージデザイン業



インターネット企業情報サービス

tsr-van2

日本全国、世界200カ国超・2億件以上に及ぶ企業情報
国内外の調査レポートをお届けします。

東京商工リサーチ
<http://www.tsr-net.co.jp>

Weekly

ウィークリー・トピックス

Topics

情報本部取材班

AIJ投資顧問が引き金を引く『年金倒産』の懸念(前編)

企業年金資産の大半を消失させた AIJ 投資顧問(株)(東京都中央区、浅川和彦社長)の問題をきっかけに、中小企業の『年金倒産』懸念が広がっている。

AIJ 投資顧問は 84 の企業年金から 2000 億円の年金資産を預かっていた。集めた年金資産はケイマン諸島に飛ばされ、運用実態が分からないまま、その 9 割近くが泡のごとく消えてしまったという。リーマン・ショック前の 2008 年には 7% 台の超高利回り運用を宣伝し、主に中小企業の年金集合体である「総合型厚生年金基金」から年金資産を集めてきた。AIJ 問題は、「総合型厚生年金基金」とその基金に加入する中小企業へ波及することが危惧されている。

☆ ☆ ☆

AIJ 投資顧問の運用形態

AIJ 投資顧問の問題が表面化したのは 2 月 24 日。日本経済新聞朝刊のスcoop記事、「年金 大半消失」がきっかけだった。高利回りで運用を行っていたはずが、その中身は空っぽ。加入する基金や監督官庁に対して虚偽報告でしのぐ惨状だった。

AIJ に委託していた企業年金は 84 基金。このうち 81 基金が「厚生年金基金」で占められ、9 割の 73 基金が中小企業の年金集合体である「総合型厚生年金基金」(単独で企業年金を持たない中小企業が同業や地域単位で集まって作る企業年金基金)とされる。AIJ 投資顧問が破綻した場合、これらの年金基金にツケが

回る。そのツケは実質負担者の中小企業、そして個人の加入者にまで及ぶ。

厳しい厚生年金基金の現状

AIJ 問題で被害者となった「厚生年金基金」は、国民年金や厚生年金に上乘せする形で企業が任意に設けた年金だ。1966 年、老後の生活を充実させようと手厚い給付を行うために制度化された経緯がある。

年金の仕組みは建物に例えると、1 階部分が全国民に共通の国民年金、2 階部分が民間サラリーマンを対象にした厚生年金、そして 3 階部分に厚生年金基金がくる(表 1 参照)。企業によっては 4 階部分に確定拠出年金を設ける会社もある。この 3 階部分の厚生年金基金は、国に納めるべき厚生年金の保険料の一部を納めずに企業独自の年金と一緒に運営する仕組み(代行運用)で、給付時には厚生年金に企業年金を上乘せして支給する方法がとられてきた。

景気が良く運用益が上がっている時代には年金の支給を厚くすることができる。しかし、景気が悪くなり運用利回りが落ちると、約束していた利回りでの支給は赤字になる。国に代行して運用してきた厚生年金部分をも食いつぶし、いずれ代行部分の穴埋めが求められる。

近年の低金利時代下では運用実績が上がらず、国の厚生年金部分まで赤字を背負うようになってきた。そこで代行部分を国に返上する基金が多く見られる。しかし、代行部分を返上する際には、預かった代行部分に相当する最低責任準備金を一括して返納しなければ

ならない。返上するための資金も使い果たし、身動きの取れない基金が相当数存在するのが現実になっている。

寄り合い所帯「総合型厚生年金基金」の厳しさ

こうした厳しい窮状を訴える基金には「総合型厚生年金基金」が多い。総合型厚生年金基金は「東京都〇〇工業年金基金」など、中小企業が同業社や地域でまとまり、寄り合い所帯的に年金を運用している。

総合型基金の加入企業は、業歴の長い中小企業が多いため従業員の高齢化が進み、掛金を払う加入者と年金をもらう受給者のバランスが逆ピラミッドになり余裕がないところが多い。このため、基金の本音は代行部分を早く返上し身軽になりたいのだが、返上するにはまとまった資金がない。

その資金不足に加え、さらに各加入企業の置かれた立場も様々だ。特に、目先に年金給付を控えた従業員や受給者OBは現状維持を求め、基金としての総意がまとまらず、仕方なく今日に至っているのが現状である。

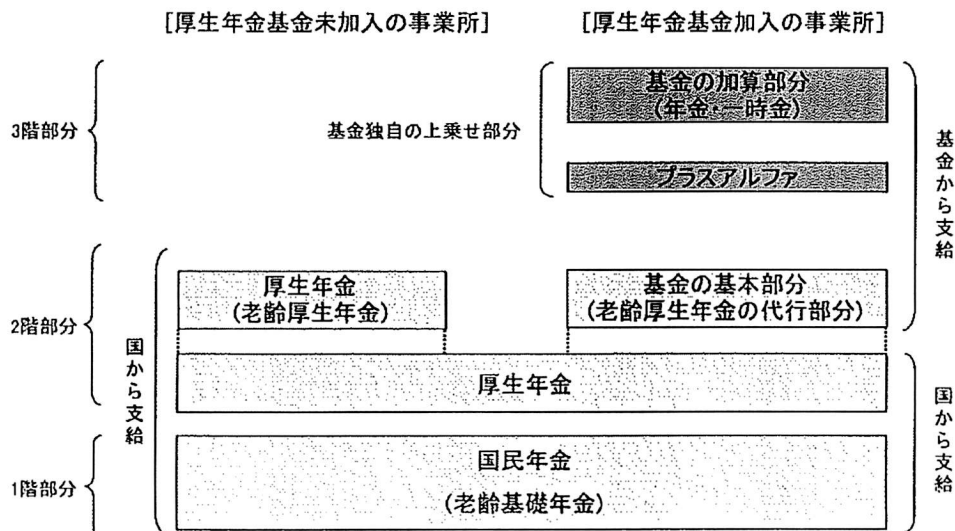
厚生労働省によると、2010年3月時点で全国に608(2011年3月末では595)の厚生年金基金があり、うち9割近くの529基金が従

業員に約束する利回り(予定利率)を昔からの5.5%の高率のまま据え置いている。すでに厚生年金の代行部分まで運用損失が食い込む、いわゆる「代行割れ」に陥った基金は4割近くを占め、改善措置が進まない基金は全国に広がっているという。


一方、「総合型」年金基金に対し、バックボーン企業を持ち、単体企業で組成される「単独型」年金基金がある。こちらは、代行返上や基金解散も比較的スムーズに進み、「総合型」のような問題山積の基金は少ない。「単独型」は大企業をバックに持つことが多く、意思決定スピードが速く、比較的資金力もある。代行部分を早めに返上し基金を解散、さっさと企業側の負担の少ない確定拠出年金(401K)などに移行して切り抜けた大手企業は多かった。しかし、中小企業中心の「総合型」は意思決定力と加入企業の財力が乏しく、取り残されてしまった。八方ふさがりの厳しい状態に陥っていたのである。

こうしたところにAIJ問題が追い討ちをかけた。AIJは総合型厚生年金基金の大切な年金資産を消失させてしまった。基金に加入する中小企業は、これから大きな負担を強いられることになる。(つづく)

(表1) 年金のしくみ



TSR情報

TSR株式会社 東京商工リサーチ 

〒100-6809 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 (JAビル)
TEL 代表 03(6910)3155 FAX 03(5221)0718
ホームページアドレス <http://www.tsr-net.co.jp>

昭和37年7月18日 第三種郵便物認可
日刊(土・日・祝日休刊)
購読料 年間 70,000円 (消費税別)

2012.3.15 (木) No.13231

TSR



経済を読む

米国が狙う「輸出倍増計画」

第一生命経済研究所 主席エコノミスト 永濱 利廣

Weekly Topics

AIJ 投資顧問 (後編)

破綻の構図

(株) 太平洋クラブ

～名門ゴルフクラブの再生の行方は～

債権者情報

富士建設(株)

(愛 知) 建築工事

鳥取振興開発(株)

(鳥 取) ゴルフ場経営

信用情報

今中工業(株)

(東 京) 金属製サッシ製造・加工

(株) アルファダーマ

(東 京) 健康食品・化粧品販売

(有) シンリョウ・アーツ

(東 京) 印刷業

インターナショナルシステム(株)

(神奈川) 移動棚製造販売

(株) 金山ファッションプレス

(愛 知) 縫製加工業

(株) ユー・東洋建設

(静 岡) 建築・土木工事

(株) 玉川工務店

(広 島) 総合建設業

(株) ジャクリンほか1社

(富 山) ニット製品製造


(株) HyaKka

(福 岡) 広告代理店業

数字を読む

さくら開花日

その他の破綻企業

 あなたの望む、
家を建てたい。

タマホーム



タマホーム株式会社 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目22-9 タマホーム本社ビル(品川駅前)
[建設業許可番号] 国土交通大臣許可(特-20)第19013号、(特-23)第19013号 [宅建業許可番号] 国土交通大臣(2)第6358号

日本全国、世界200カ国超・2億件以上に及ぶ企業情報
国内外の調査レポートをお届けします。



インターネット企業情報サービス

tsr-van2

 東京商工リサーチ
<http://www.tsr-net.co.jp>

Weekly

ウィークリー・トピックス

Topics

情報本部取材班

AIJ 投資顧問が引き金を引く『年金倒産』の懸念 (後編)

タクシー会社の年金倒産の連鎖

総合型の年金基金の窮状は、AIJ問題が発生する以前の2006年にすでに表面化していた。立ち行かなくなった総合型年金基金が解散し、基金の赤字のツケが加入企業に回り、「年金倒産」したケースである。(表2)は2006年1月に「兵庫県乗用自動車厚生年金基金」が解散し、最低責任準備金の分割負担を強いられたタクシー会社14社が相次いで連鎖倒産した一覧である。

兵庫県乗用自動車厚生年金基金は、最低責任準備金137億円に対し、残余財産は66億円しかなく、71億円近くの積立不足を抱えたまま2006年に解散した。手厚い年金給付を維持していたが、加入者の高齢化で支出額が増大

し、これ以上基金を維持しても現状の掛金では追いつかないため解散を選択したのだ。

基金を解散するには厚生年金の代行部分を国(企業年金連合会)に返上しなければならない。この支払は基金に加入する企業が相応に負担するが、加入企業に資金負担が大きい一括納付ができず、特別に10年の分割納付を認めてもらった。会員50社のうち29社がこの分割に応募した。分割納付すべき各企業の負担金合計は52億5000万円(一括納付分を除く)。これが各タクシー会社に振り分けられた。ところが各社の売上高は2億~3億円程度と小規模企業が多く、業績も低迷している。ここに負担金が1社当たり平均1億8000万円近く振り分けられたため、年金倒産が続出した。

(表2) タクシー会社の「年金倒産」14社一覧

2012.2.28現在

	企業名	年商	破綻日	形態	負債総額 (万円)
1	三宮自動車交通(株)	3億6000万円	2007.7.20	破産	35,000
2	(株)講和交通	3億5000万円	2008.2.1	破産	28,200
3	(株)港都交通	3億5000万円	2008.3.28	破産	50,000
4	神戸銀星タクシー(株)	2億7000万円	2008.3.28	破産	25,000
5	三洋タクシー(株)	—	2008.8.7	破産	14,000
6	安全タクシー(株)	2億5000万円	2008.10.9	破産	24,000
7	第二交通(株)	2億8000万円	2009.3.27	破産	14,000
8	日新オート(株)	—	2009.8.20	破産	110,000
9	みなとタクシー(株)	3億7400万円	2009.11.25	破産	40,000
10	宝交通(株)	—	2010.2.3	破産	19,900
11	神戸中央交通(株)	2億1500万円	2010.3.31	破産	23,000
12	平和タクシー(株)	3億円	2010.4.6	破産	30,900
13	神戸自動車交通(株)	2億2500万円	2010.11.2	破産	18,300
14	(株)日の出タクシー	2億1600万円	2012.1.31	破産	26,961

※「兵庫県乗用自動車厚生年金基金」

1970年に神戸市内のタクシー会社で設立。

手厚い年金給付を維持していたが、高齢化による支給額の増大などで、加入者の掛金では追いつかなくなり2006年1月に解散した。これに伴い、積立不足額から純資産を引いた約71億を、解散時に構成した50社が負担することになった。21社が一括納付したが、10年分割で支払う残り29社の経営を、毎月約150万円近い返済が圧迫。2008年4月、厚生省が倒産した事業者分の返済を2年繰延し、毎月の返済額を2008年は2割減、2009年を1割減にすることに認めた。

(表2)のうち、2007年7月に破産した三宮自動車交通(株)は基金解散に伴い、10年分割で合計1億8000万円の負担が求められた。だが、売上高は市況低迷でピーク時の半分の3億円に落ちているところだった。そこに1年間では1800万円ほどの負担金でもキャッシュアウトが耐えられなかった。

2010年1月に破産した平和タクシー(株)は、10年弁済で負担金は当初1億5000万円だった。月に130万円ほどを分納してきたが、この間に他のタクシー会社が倒産し、その会社の負担金分も残った加入企業に振り分けられ、負担金は3000万円増えて1億8000万円に膨れてしまった。「返しても返しても負担金は増える。会社をたたむしかなかった」(当時の関係者)という。

兵庫県乗用自動車厚生年金基金のように積立不足を抱えた基金が解散し、その負担金を5~10年など分割弁済する場合、この間に他の加入企業が倒産すると倒産企業の未払い負担金を残った企業で連帯責任を負う義務が課せられる。このため基金のメンバーが負担に耐えられず、次から次へと倒産すると、負担金は残された企業にどんどん積み上がっていく仕組みがある。平和タクシーのように、真面目に払い続けた会社が、減るところか、逆に増えるケースは他人事ではない。負担金穴埋

めの年金倒産の連鎖・・・この恐怖はこれからが本番を迎える現実を知るべきだろう。

AIJ破綻による「年金倒産」連鎖懸念

年金資産運用が低迷するなかで起きたAIJ投資顧問による年金資産消失事件。総合型の厚生年金基金の財政は厳しさを増している。予定利率を引き下げたくてもできず、基金解散や代行部分の返上をしたくてもカネがない。基金解散できても後に倒産が出ると残された企業の負担する恐怖の悪循環に解決策は見出せない。

AIJに年金資産を運用委託していたある年金基金はAIJに40億円の委託残高があった。この基金は480社余りの加入企業を抱え、加入者9,000人、受給者8,600人がいた。最近では代行部分にかかる積み立て水準が90%を下回り、「指定基金」(厚生労働大臣より財政の健全化を図るよう指定された基金)としてイエローカードが出されている。ここにAIJに託していた年金資産がすっかり無くなってしまった。

AIJの年金消失問題は、コツコツ年金を積み上げてきた加入者には責任がないとはいえ、救済の道も見えてこない。降って湧いた新たな年金問題で「年金倒産」の現実味が我が身に迫りつつある。(了) (橋)

なるほど tsr-van2 ⑥ 与信管理で使える「企業相関図」

取引先の取引先が**見える!**
視野を広げる企業相関図

付き合いの長いA社さんはこの景況下、きちんと商売できているのだろうか?

思わぬ事態、その前に!

CONFIDENTIAL

取引先分析資料

www.tsr-net.co.jp 東京商工リサーチ